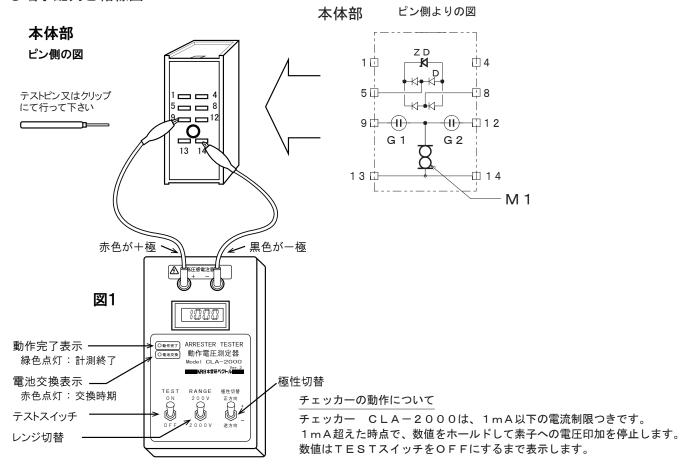
CLA-2000による避雷器点検方法

避雷器本体内素子の点検方法は動作開始電圧(素子に1mAを流したときの電圧)を測定して判断します。

●端子配列と結線図



●素子の良否判定方法

- ① チェッカーCLA-2000を図1のように接続します。
- ② 測定する素子(ZやD)の動作電圧に合わせてRANGE(レンジ)を切り換えてください。
- ③ TESTスイッチをONに投入してください。
- ④ 指示値が下表の範囲外の場合は、劣化と判定します。

<NRR-224-3避雷器>

※ 1	各素子	測定端子	端子番号	印加電圧 (レンジ)	確認内容
	Z D回路正方向	L1-L2間	8 – 5	DC200V	DC42~52V 範囲内であること
	Z D回路逆方向	L2-L1間	5 – 8	DC200V	DC42~52V 範囲内であること
	M 1	L1-E 間	12-14	DC2000V	DC350~850V 範囲内であること ※2
	M 2	L2-E 間	9 – 1 4	DC2000V	DC350~850V 範囲内であること ※2

- ※1 接続を変えずに極性切替スイッチを逆方向にする。
- ※2 出荷時試験電圧範囲以外でも±10%程度は良好で、自復作用で復帰することもあり使用可能です。 ただし、300V以下の場合は交換をお奨めします。

●注意事項

- ①感電にご注意ください。
 - TESTスイッチONにしているとき、出力の電極を素手で触れないでください。
- ② 新品交換待ちの場合 劣化であっても信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻してください。交換までの雷サージ対策となります。